

大谷学会

◇春季公開講演会

五月二十二日(月)午後一時二十分～

於 講堂

ターミナルケア、グリーフケアの現場から考える人生の喜びと悲しみの意味

上智大学グリーフケア研究所特任所長

高木慶子

《私》という偶然をめぐるって

本学准教授 脇坂真弥

真宗総合研究所

◇委員会

一月十六日(月)午後一時～

於 博綜館第四会議室

- ・カリフォルニア大学バークレー校東アジア研究所との協定締結について
- ・二〇一七年度「一般研究」採択につ

いて

・特別研究員の人事について

・研究組織の変更について

・西蔵文献研究班嘱託研究員の追加

・モンゴル国立大学との共同研究の論文集の発行について

・報告事項

・その他

真宗総合研究所東京分室PD研究員の採用について

・その他

二月九日(木)午前九時三十分～

於 博綜館第五会議室

・東京分室PD研究員の採用について

・カリフォルニア大学バークレー校東

アジア研究所・龍谷大学世界仏文化研究センターとの学術交流協定の締結について

・その他

二月二十日(月)午後四時三十分～

於 博綜館第四会議室

・東方仏教徒協会規程について

・その他

三月二十二日(水)午前十時三十分～

於 博綜館第五会議室

・その他

三月二十二日(水)午前十時三十分～

於 博綜館第四会議室

・二〇一七年度「特定・指定研究」等の研究組織・研究計画について

・その他

五月八日(月)午後〇時十五分～

於 博綜館第五会議室

・特別研究員の人事について

・二〇一七年度研究組織について

・その他

◇二〇一六年度「指定研究」「資料室」研究成果報告会

三月八日(水)午後五時～

於 慶聞館K四〇七教室

◇二〇一六年度第二回研究員総会

三月八日(水)午後六時四十五分～

於 慶聞館K四〇七教室

慶聞館マルチスペース四階南

真宗学会

◇「親鸞教学」第一〇七号発行

◇「親鸞教学」第一〇八号発行

◇「親鸞教学」第一〇八号発行

(三月十五日)

(三月十五日)

(三月二十日)

(三月二十日)

◇新入会員歓迎講演会ならびに総会

五月二十三日(火)午後一時

於 二号館二二〇一教室

真宗の学び

本学教授 三木彰円

◇第一回真宗学会例会

五月三十一日(水)午後四時二十分

於 慶聞館K四〇七教室

卒業論文梗概発表会

本学大学院修士課程第一学年 五名

## 仏 教 学 会

◇卒業論文梗概発表会並びに送別懇親会

一月十二日(木)午後五時

於 尋源講堂

卒業論文発表後に記念撮影を行い、その後慶聞館マルチスペース四階南で懇親会を行った。

◇新入会員歓迎講演会

四月十三日(木)午後一時

於 響流館メディアホール

四任期とブツダの言葉

本学教授 山本和彦

## 哲 学 会

◇『哲學論集』第六十三号発行

(二月二十八日)

〔目次〕

論文

患児の「元氣」要件から考える「医療  
化」命題 翁 和美

直観と表現の問題―初期のハイデッ  
ガーにおける解釈学的直観

荒金 拓

社会保障とニーズのウェイト付け―貧  
困理論の視点から― 志賀信夫

個人との社会関係が外界認知に及ぼす影  
響についての予備的考察 星津香織

幼児はどのように遊ぶのか 森田裕之

シモーヌ・ヴェイユにおける「無行為  
の行為」の概念 脇坂真弥

学会活動報告

◇春季研究会

三月二日(木)午後四時

於 慶聞館K三〇九教室

エピクロスにおける死の恐怖について

―「死はわれわれにとつて何もので  
もない」のか―

本学大学院修士課程哲学専攻

小林辰吾

関係論的存在論と現代社会

本学社会科学科准教授 野村明宏

◇二〇一七年度総会

六月一日(木)午後四時三十分

於 慶聞館K二〇八教室

論文合評

社会保障とニーズのウェイト付け  
―貧困理論の視点から―

本学社会科学科助教 志賀信夫

シモーヌ・ヴェイユにおける「無行為  
の行為」の概念

本学哲学科准教授 脇坂真弥

合評会終了後、懇親会及び新入会員歓  
迎会を行った。

◇社会科学公開講演会

六月十四日(水)午後一時

社会科学公開講演会

## 社 会 学 会

於 響流館メディアホール  
 福島からの広域避難者の現在  
 避難を通して見えてくるもの  
 えひめ311事務局長 澤上幸子

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会一月例会  
 一月二十八日(土)午後二時

於 博綜館第四会議室  
 近世初期京都の被差別部落―六条村を  
 中心に― 松尾奏子

◇大谷大学日本史の会三月例会  
 三月二十五日(土)午後二時

於 博綜館第四会議室  
 高木顕明の思想歴 上山 慧

◇大谷大学日本史の会五月例会  
 五月二十七日(土)午後二時

於 響流館演習室三  
 〈修士論文構想報告会〉  
 生身仏像について―仏舍利納入を衷心  
 に― 榎谷咲衣

植民地朝鮮と日本仏教  
 ―日本仏教界の布教と朝鮮総督府宗

教政策を通して― 出雲路真志

文藝学会

◇『文藝論叢』第八十八号

(池田敬子教授退職記念) 発行  
 (三月A5判二二六頁)

〔目次〕

『平家物語』と『太平記』のことは(四)

―「厄」と「出家」― 池田敬子

人麻呂の表現意識―「やすみしし我が

大君 高照らす(高光る)日の皇子」

をめぐって― 根来麻子

『石清水物語』と近衛長子―成立年代に

ついての一考察― 関本真乃

覚一本『平家物語』名のり考―類型と

その意義― 城阪早紀

中世における『万葉集』享受の一樣相

―「名所和歌抄出」を中心に―

『伊勢源氏十二番女合』序文攷 赤瀬知子

『太平記』における天罰・天譴・天災 安達敬子

長谷川雄高

金飛磔のこと―『鈴鹿の物語』と聖徳

太子説話― 安藤秀幸

『愛火』から「夜叉ヶ池」へ―泉鏡花に

よるハウプトマン「沈鐘」享受の行

方― 安藤香苗

高校古典教育における和歌の指導―近

現代短歌からのアプローチ― 中川真二

《翻訳》

おもしろさについての導入研究(後篇)

― MURRAY S. DAVIS, That's

Interesting: Towards a Phenomenology of

Sociology and a Sociology of

Phenomenology (訳稿)― 内海透雄

大秦一浩

中国文学会

◇学生会員報告会

五月十日(水)午後二時四十分

於 慶開館K5〇二教室

香港旅行記 岡田紗織里

杭州留学記 銭瓶美奈

## 英 文 学 会

◇『英文学会会報』第四十三号発行

(三月十日)

〈目次〉

- The Composition of the Landscape Garden  
by Edgar Allan Poe: Passing through  
"The Domain of Arnheim" into "Landro's  
Cottage" Yoko Ikeoue  
アヴォンリーでロマンティックは可能  
か 石本哲子

二〇一六年度卒業者と卒業論文題目  
学会、たより

## 国 語 教 育 学 会

◇卒業論文発表会(ポスターセッション)

一月二十日(金)午後二時四十分

於 四号館四一〇二教室

物語教材の指導法―「世界でいちばん  
やかましい音」の実践を中心に―

井上 桜

絵本から考える子供の世界 岩倉由季  
詩教育における指導法―「一秒の言葉」

奥田 萌

の実践を中心に―

―「きいて、きいて、きいてみよう」

の実践から―

黒川佳那

言語活動の充実を目指して―「慣用語」

の授業を手がかりにして―

小林さくら

「読む」と「つね」を中心に 佐伯 樹

◇『大谷大学国語教育研究』第四号発行  
(二月二十五日)

〈目次〉

第一部 大谷大学国語教育学会第四回

研究大会報告

・ 第四回研究大会概要

・ 言語活動を重視した授業への一考察

―教材研究を活かした授業実践へ―

望月謙二

第二部 投稿論文

・ 「話すこと・聞くこと」の指導法

―話し合いの活動に焦点をあてて―

高橋栄由

・ 運動学習場面における言葉による指

導の事例研究―年長児から小学校低  
学年児への指導を見据えて―

高瀬淳也

・ 西郷竹彦「典型をめざす読み」に對  
する一考察 高橋栄由

第三部 二〇一六年度卒業論文発表

会・卒業論文

・ 二〇一六年度卒業論文発表会(ポス  
ターセッション)報告・ 二〇一六年度卒業論文六編(題目・  
氏名は前記の「卒業論文発表会」参  
照)

## 人 文 情 報 学 科

◇Welcome Back to Campus day

三月二十七日(月)午前十時

於 響流館メディアホール

次年度の学びを確実なものにするため、  
志プロジェクト、ITパストリート試験、  
CG検定、ファイリング・デザイン、  
文書情報管理士、その他資格試験(T  
OEIC、日商簿記三級、英検)説明を  
行った。

## ◇タイピング・コンテスト

五月三十一日(水) 午後四時二十分

於 慶聞館K三三四教室

基礎学力の向上のため、P検タイピング(日本語入力(ローマ字)三分)でのスコアを競った。

## ◇二〇一七年度卒論構想発表会

六月十五日(木) 午前九時十五分

六月十六日(金) 午前十時四十分

於 慶聞館K三三四教室

六月末提出の卒論テーマを検討するために、ゼミ毎にスケジュールを決め、一人三分の発表・五分の質疑応答のブレゼン大会を開いた。

## 短期仏教科

## ◇『仏教研究紀要』第三十九号発行

(三月十八日)

## 〈目次〉

学びの成果

大谷大学学長 木越 康

山を下りて社会へ

仏教科主任 井上尚実

卒業研究・修了レポート要旨

卒業研究・修了レポート全文

親鸞の宿業観―凡夫という自覚―

小原 悠

出世本懐―自分とは何か―

那須智慧海

研究課題名別卒業研究・修了レポート

一覧

卒業研究・修了レポート指導担当者一

覧

## 幼児教育保育科

## ◇卒業研究発表会

一月十七日(火) 午後四時二十分

於 慶聞館K二〇七教室

第一・二学年合同で、第二学年の卒業研究の発表会を行った。十のゼミからの代表者が、自分の卒業研究について発表(十分間)した。

## ◇研修会

五月二十七日(土) 午後〇時三十分

於 八瀬野外保育センター

(京都市左京区八瀬野瀬町)

第一・二学年合同で研修会を開催した。保育者としての企画力を身につけるため、第二学年の学生がレクリエーション内容について企画運営を担当した。

## ◇大谷探検隊

六月二十六日(月) 午前十時三十分

於 本学内

第二学年を中心に、テーマを「忍者に」と設定し、大谷幼稚園の年長児による大谷探検を企画運営した。午前中は二号館の図工室、音楽室、保育室を使い、「忍者屋敷」を演出し、子どもが楽しめる様々な内容を展開した。昼食は講堂棟多目的ホールで摂り、学生と園児と一緒に弁当を食べ交流を深めた。また午後は体育館で、日頃幼稚園ではできないダイナミックな運動遊びを企画した。

## 学生会員 投稿規程

1. 本学会学生会員で、『大谷学報』に論文の掲載を希望するものは、指導教員の推薦状を添えて投稿できる（一六〇〇〇字以内とする）。
2. 投稿された論文は、審査を経て採否が決定される。
3. 論文の審査は、編集委員および編集委員が選任委嘱する審査委員（若干名）によって行われる。
4. 審査の結果は左記の通りとし、②③の場合には、投稿者にその理由を通知する。
  - ① 採用
  - ② 条件付き採用（修正がなされた場合採用）
  - ③ 不採用
5. この規程は、『大谷学報』第八十九卷第一号より適用される。